

令和8年度 八王子市立第二中学校 学校経営計画

八王子市立第二中学校

校長 山口 徹

1. 教育目標

- 学ぶ 「進んで学ぶ生徒」 ○ 思いやる 「心の豊かな生徒」 ○ やりぬく 「協力し勤労する生徒」

2. 校訓

- 自律

3. めざす学校像

- ◎ 生徒一人一人が成長する学校 ○ いじめのない学校
○ 教職員が教育活動に責任をもって取り組む学校 ○ 地域を大切にする学校

4. めざす生徒像

- ◎ 自制心とやりぬく力をもった生徒 ○ 主体的に学習活動(授業・行事)に取り組む生徒
○ 自他を大切にする生徒 ○ 進んで地域の活動に参加する生徒

5. めざす教師像

- ◎ 常に向上心をもって学びあう教師 ○ 生徒との関わりを大切にする教師
○ 生徒・保護者・地域から信頼される教師 ○ 教育公務員として自覚と責任をもった教師

6. 中期的な目標と方策

目標 『自律・自立した生徒の育成』

今後社会全体が大きく変化していく中で、義務教育を終えた生徒一人一人が夢をもって力強く生きていくために必要な資質能力(「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」)を身に付けさせることが重要である。そのために全ての教育活動(授業・学活・道徳・総合的な学習・行事等)を通して、資質能力を身に付けさせる。

7. 今年度の取組目標と方策

重点目標1 「生徒一人一人の学力向上」

方策

① 基礎・基本的な学力の定着

- ・分かる授業のためにグループ学習など協働的な学びや繰り返し学習、習熟度別少人数学習(数学・英語)、朝学習(定期考査前に実施)、ねらいの明確化、情報機器(タブレット、電子黒板等)の活用、ユニバーサルデザインを取り入れた授業を実施。
- ・読解力向上のために朝読書や各教科で学校図書館の活用。
- ・定期考査前や夏季休業中に補習教室の実施。
- ・家庭学習の定着を図るためにミライシードを活用するなど各教科で生徒の実態に応じた課題の提示。
- ・小テストや定期考査、各種学力調査の結果をもとに個に応じた指導の実施。
- ・近隣小学校と9年間を見据えた教科等の指導方法や生徒情報の共有を図り、個に応じた指導の充実。

② 学習意欲の向上

- ・できたことを褒めることで自己肯定感を高め、主体的な学習態度を身に付けさせる。
- ・キャリア教育を通して、夢や希望を実現させる気持ち(意識)を高める。
- ・各学期の始めに各教科で、評価・評定方法や評価材料等について説明をして授業の見直しをもたせる。

③ 特別支援教育の充実

- ・特別支援教育委員会を中心に全教員で情報を共有し、支援・指導方法を共通理解して取り組む。
- ・「個別的教育支援計画」や「個別指導計画」をもとに、生徒一人一人に対応した支援・指導の充実を図る。
- ・学校行事で特別支援学級と通常学級との交流を図り、障害や特性を含めた生徒相互の理解、協力への意

識を高める。

・外部機関、外部人材を活用し、個に応じた指導の充実。

④ 授業力の向上

・年3回の授業研究の実施。(指導と評価の一体化、生徒の実態に応じた指導方法の改善、ICT 機器の効果的な活用方法等)

・年3回(学期末)の授業アンケートの実施。

・9月に授業アンケートと各種学力調査や体力・運動能力調査等による授業改善プランの作成と実践。

・授業での評価方法の工夫と十分な評価材料による指導と評価の一体化を図る。

重点目標2 「豊かな心の育成」

方策

① 人権教育・規範意識の充実

・特別の教科「道徳」を中心に、生命尊重・人権尊重の精神を育む。

・「いのちの授業」と「認知症サポーター養成講座」を通して、生命尊重の精神を育む。

・道徳授業地区公開講座を通して、学校・家庭・地域が連携した道徳教育を推進する。

・週1回の学校いじめ対策委員会と生徒と教員との面接、年3回の生徒へのいじめアンケート調査・いじめ防止に関する授業・教員を対象にしたいじめ防止研修の実施を通して、いじめを許さない態度の育成。

・SNS 学校ルールや SNS 家庭ルールの作成を通して、情報機器の適切な利用方法の理解。

② キャリア教育の充実

・職業調べやレディネステスト、職場体験、上級学校調べ、上級学校の先生の話聞く会等を通して、社会に貢献することの大切さや働くことの意義の理解。

・キャリアパスポートの効果的な活用。

・近隣小学校と連携し、9年間を見通したキャリア教育の充実。

・地域人材を活用し、職業選択等自分の進路を身近なものとして考えさせる。

③ 体験活動の充実

・特別活動(学級活動・生徒会活動・学校行事等)や部活動を通して、よりよい人間関係づくりができる力の育成や自己肯定感を高める。

・地域行事やボランティア活動に参加させることで、地域社会の一員としての自覚をもたせるとともにボランティア精神と郷土愛を育む。

・ボランティアとして近隣小学校の補習教室への参加を通して、学ぶことの大切さや思いやりの心の育成。

④ 相談体制の確立

・不登校傾向の生徒に対して、登校支援コーディネーターや不登校対応巡回教員を中心に組織的に別室登校等の支援の充実を図る。

・悩みを抱えた生徒に対して、スクールカウンセラーや外部機関等と連携を図り落ち着いた学校生活を送れるようにする。

重点目標3 「健やかな体の育成」

方策

① 体力向上

・保健体育科では、補強運動を取り入れ基礎体力の向上を図る。

・体育的行事において、運動に対する興味・関心や生涯にわたり体力増進を図る意識を高める。

② 安全に対する意識の向上

・月 1 回の避難訓練や安全指導、薬物乱用防止教室、セーフティ教室を通して、いのちの大切さや危機回避能力、自助・共助の意識を高める。

- ・委員会活動など生徒が主体的に健康教育に取り組むことで、健康への意識を高める。
- ・食育や全教員と生徒とで食物アレルギーの情報共有を通して、食への意識を高める。

8. その他

- ・学校や保護者、地域全体で生徒の成長を図るために、ホームページや学校だより等を通して学校の情報を発信。
- ・学校経営を充実させるために定期的な学校運営協議会の実施。
- ・生徒への指導を充実させるために、閉庁日の導入等教職員の働き方改革を推進。